
これが私

ハルク

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

これが私

【コード】

N5230J

【作者名】

ハルク

【あらすじ】

ノンフィクションの自分のお話です。

つまらないと思いますが、マイペースでお話（日常生活）は進んでいきます。

0 ぐだぐだに始まる

『真面目』

そんなの嘘だ。

決して、真面目なんかじゃない。

『静か』

…静か？

まさか…そう思われてるなんて、ね。

言っておくが、本当の私は全然静かじゃない。

今までかぎ括弧であげていたのは、私の学校での周りの人たちから抱かれるイメージ。

実際に書いてみると、学校での私は勘違いで塗り固められた架空の人物のように思う。

だって、本当の私は全然そんなじゃないし、似ても似つかないほど正反対の性格をしてるから。

これは、小説風味で自分のことを書いてみようと思い、そこから始めた物語です。

嘘のような、でも現実で起こっている…そんな物語の始まり始まり。

0 ぐだぐだに始まる（後書き）

タイトル通り、ぐだぐだに始まります。

1・これが中三？

私は現在中学三年生。

もうすぐ受験を控えている受験生だったりする。

そんな私は、未だにクラスの雰囲気馴染めずにいた。

例えば朝の歌練習。

最近、朝はパートごと別れて音とりをやったりするのが多い。

実際、私のクラスはソプラノ、アルト、テノール、バスのパートでわかれていた。

けれど、私の所属するパート…アルトでは、皆がおしゃべりに花を咲かせていた。

もちろん、私を除く…だが。

私は歌を歌うのが好きだ。

だから、パート練習でも頑張りたいといつも思っている。

だけど、正直なところそれは無理に近い気がする。

同じ教室でパート練をしているソプラノからは、絶えず綺麗な高い声が聞こえていた。

けれど、私たちアルトはまともに練習をしても声を出す人が少なく、明らかにおしゃべりの時の声のほうが大きかったんじゃない？と、いつも疑問に思っている。

ただ、唯一の救いはパートリーダーの人だった。

その人の歌声は綺麗で、アルトの中でも一際目立っていたし、選抜合唱という合唱がうまい人たちが集められたものにも選ばれていた。けれど、その救いの人も今では儚く消えていってしまったように思う。

今では、パートリーダーの人もおしゃべりに参加。

笑い声は絶えず聞こえてくるが、これが本当に中三の歌練習か？…と、思わず疑問を投げかけたくなる。

とにかく、私たちアルトの歌練習はそんなこんなで、全体で合わせたりする時以外はほおしゃべりに時間を使ってしまう始末。

もうすぐ私は卒業する。

このクラスで歌を歌えるのも残りわずか。

だから、悔いが残らないように精一杯努力したいと思っている。

でも、パート練習でアルトの人たちがおしゃべりばかりしてしまうのは、それに気づいていながらも注意をしなかった私も悪いと思っている。

そして、このままじゃまずいとも思っている。

だから、今度勇気を出していつてみようと思う。

「歌の練習はしなくていいの？」

そういつて、注意を促そうと思う。

1 ・これが中三？（後書き）

いつもこんな感じで合唱練習やっています。
今度注意できたらしようと思っています。

2・これが受験生？

私、結構クラスの人に勘違いされています。

イメージ的に、真面目だとか、静かだとか、頭良い…とかなんとか思われちゃってるみたいです。

まあ、眼鏡掛けてるし、授業でも発表したりするからそう思われてもしょうがないかもしれませんが。

ただ、此处では言っておきますが、私は馬鹿です。

三者面談とかでも、先生に『このテストの点じゃ厳しいと思う』…って、言われてるくらいですから。

でも、だからといって勉強を投げ出そうとはしていません。

寧ろ以前よりも俄然やる気で取り組んでいます。

ただ、心配なのは自分のクラスの人たちの雰囲気の中でそのやる気が消えてしまわないか…なんです。

少し前、テストを行ないました。

全教科で、平均や合計点を出すテストでした。

だれかが自分の取った点数が悪かったらしく、その点数を皆にいいながら、後悔していました。

すると、同じクラスの男子が一言。

「0点じゃなかったから、いいじゃん。」

これが、受験生の言葉ですか？

私は思わず、心の中で質問しました。

答えなんて返ってくるはずはないですけど。

もちろん、同じクラスでも真面目に勉強してる人。

塾へ行ったりして頑張っている人。

積極的に発表する人などなど…頑張っている人は何人もいます。

ただ、一部の人はクラスの受験なんてまだまだ先と感じるような…お友達感覚でなにかも楽しんでるような雰囲気、帰りに遊ぼうとか話しているのも聞きます。

この前、男子が昼休み…クラスで卓球をしているのを見かけました。

私は勉強をしていたのですが、その卓球をしていた一人の男子に…

「勉強しているなんて、偉いね。」

…と、いわれました。

私は少し、ショックでした。

だって、それが当たり前だと思っていたから。

受験生なら休み時間も惜しまず勉強に費やすことに疑問は抱いていませんでした。

でも、私はその時、なにもいえませんでした……一言いいたかった。

「先生の目を盗んで卓球してるくらいなら、あたしと同じように勉強すればいいじゃん。」

あの時、そういえばよかったなあ…と、少し後悔しています。

後悔先に立たずってことですね。

でも、その男子達も今は外でサッカーとかしてくれているんで、ホッとしています。

だけど、やっぱり私がクラスに馴染めるようになるのは当分先のようです。

2 ・これが受験生？（後書き）

もし、また男子達がクラスで卓球していたら、注意できるようにしたいです。

「本を粗末にするな！」…って。

（男子達は卓球をする時、クラスにおいてある本をラケット代わりに卓球してます。）

3 ・これが友達？

この前、席替えをやりました。

くじ引きの方法でやったのはいいんですが…私、未だにその班に馴染めていない気がします。

同じ班の人たちは私を除く人全員が、美男美女でした。

正直、少し居づらいです。

私がここに居て良いのか…？

時々、そう思います。

同じ班の人は、私以外に女子が一人と男子三人の五人班です。

そういえば、美男美女といえば…私の友達に変わった子が居ます。

その子はA型で几帳面なイメージがあるんですが、たまにえっ？と聞き返したくなることをいいます。

例えばずっと前、私が同じ美術部の子と偶然通学路で会って、登校した日のことでした。

「いいなー、私も中の上の子と登校したいなあ…」

私と一緒に登校してきた美術部の子は一年下の後輩でしたが、色白で美人さんでした。

それを聞いた友達の…仮にAとしましょう。

A型だから、その子のことをこれからはAと書きます。

Aは結構人のことを顔で区別するところがあるみたいで、どうにも私には着いていけません。

今さっき言った言葉はAによるものです。

色白美人な後輩の子…つまりはAからすると見た目が中の上な子と自分も登校したいなあ……って、意味だったんです。

私は内心、少しあきれていました。

だって、人のことを見た目だけで判断してるの?…と、思いましたから。

しかし、Aの見た目発言はそれだけにとどまりませんでした。

3 ・これが友達？（後書き）

本当にAのえっ？発言（思わずえっ？と聞き返したくなるからえっ？発言）はそれだけじゃないです。
次に続きます。

4・どつちが…？

Aのえっ？発言はそれだけにとどまりませんでした。

この前、私が席替えをして、美男美女（私を除く）になったという話をどこかで書きましたよね？

席替えをした後、Aが私の席に来て私に向かって、こういったんです。

「よかったじゃん、隣がイケメンで！」

私はAのその言葉に驚きました。

だって、近くにはその人（イケメンと呼ばれた人）もいたんですよ…？

でも、私はこういいました。

「えっ、そうかなー？」

私は、Aとは考え方が合わないみたいです。

見た目だけで人のことを判断したくは無いです。

Aはミィハーなんだ。

そう思うことにしました。

でも、その考えも少し間違っていたのかもしれない。

この前の美術の授業の時間のことでした。

最近の美術の授業では席が自由なのですが、私とAは隣の席になってしまいました。

美術の作業は個人個人でマイペースに作品を作っていけばいいというものでした。

私とAも、そうしていました。

だけど、お互い周りに喋る相手がありませんでしたので、必然的に二人で喋ることに。

ちょっとしたことがきっかけでした。

一応言っておきますが、Aは女の子です。

Aは『バイクの免許をとりたいたなあー』と、私に言いました。

その後、Aはとある漫画に出てくる女の子の名前を挙げて、その子達みたいな可愛い彼女をバイクの後ろに乗せたいと言いました。

私はAのその発言に驚きました。

だって、Aは以前、結婚したいと言っていましたから。

もちろん、男の人と。

私は美術の作品はアルバム作りみたいなものだったので、中学校生活の思い出を書くことに決めていました。

それと、将来の夢についても書こうと思いました。

十年後までの自分の進路と将来の夢を達成したい時を下書きの紙に書いてAに見せると、Aには『そついうことをする人って気持ち悪いよー』…と、言われました。

私は少し頭にきて、

「そつちの方が気持ち悪いし！」

…と、言い返しました。

4 ・どっちが…？（後書き）

あまり詳しくは書けませんが、本当にこんなことがありました。次回はもう少し自分のことを書きたいと思います。

5. これでいいの？

Aはその後、『そんなことないよー』と行っていました。

だけど、やっぱり私はAとは少し距離を置くべきだと考えました。

実は私、前にもAの話に着いていけなくなって、少しの間…話し掛けるのを止めていたんです。

もちろん、話しかけられたらそれには答えていましたが。

ただ、ひとつ気になる事があります。

Aが私以外のだれかにそういうこと…つまりは見た目関連の具体的なことを…

…私が知っている限り、話していたのを聞いた事はありません。

ただ、私は以前Aに『中の下』…と、言われました。

まあ、すでに自覚済みですが。

話し変わりますが私、少し人見知りしちゃうんです。

いや、担任の先生には『人見知りが激しいところがある』…って言われたから、少しどころじゃないかもですが。

なんか、無理なんです。

特に、男子と話す時はなんて言ったらいいのか分からなくなります。だから、新しくなった班の人達ともあまり話したことはありません。話すときはほとんど小声になってしまいます。

多分、原因はトラウマからきてると思うんですが…

あれは、中二か中一の頃のことでした。

私は、理科の班で、たまたま男子と一緒にになってしまいました。

その同じ班の男子の中にはクラスのガキ大将みたいな、威張っている(?)子がいたんです。

私はその男子に言われて、理科の授業で実験があるときは、全部…セッティングからなから自分独りでやらなくてはいけませんでした。

そして、私にそういった男子はというと、近くにいる男子と授業中ずっとふざけたりおしゃべりをしたりで、協力なんてほとんどしてくれませんでした。

私は、そんな男子の言う事を聞いている自分が嫌でした。

同時に、私にそういつてきた男子も嫌でした。

それからかもしれません。

男子としゃべるのが…少し、こわいです。

こわいと言つても、男子全員がこわいわけじゃなくて、あの時私に何もかも頼んできた男子のような…目立っていたり、威張ったりしてるよな人が…今でも苦手なんです。

だけど、いつかはその苦手意識も克服したいと思っています。

5 ・じゃでいいの？（後書き）

男子とも普通に話せるようにしたいです。
今日の更新はここまでです。

6・中一の子

中一の頃のことでした。

私は、仲の良い友達が一人も居ないクラスになってしまいました。

そこで、一番困った事って…何だと思えますか？

人によって答えは多種多様だと思いますが、私の場合はお弁当でした。

私の学校はお弁当の日が年に何日か必ずありました。

それだけなら、まだいいんです。

その度に自由に席を移動させて、仲良しグループと席を囲んでお弁当を食べる事になるのが…私にはうまくできませんでした。

ただ、中学校生活に慣れていくと同時に、一人の友達ができました。

その子はB型の女の子でした。

以前、A型の女の子のことをAちゃんと書いていたので、その子のことはBと書いていききたいと思います。

当然、私とBはお弁当の日に机を向かい合わせる事になりました。

すると、今度は一人の女の子がやってきて『私も一緒に食べて良い？』って、言ってきました。

私はもちろん『いいよ。』と、OKの返事をしました。

私にお弁当と一緒に食べても良いか聞いてきた女の子は、その日からお弁当がある日は、無言で机を私とBの元へと椅子を移動させてくるようになりました。

その女の子は、いつも私の机の方に椅子を向けて、膝に弁当を乗せ、行儀良くお弁当を食べていました。

この頃の私は、なんでその子が私に何も言っていないのか…不思議でした。

ただ、今の私にはなんとなくですが、その理由が分かるようになりました。

6・中一のとぎ(後書き)

行き成りですが、中一の時のことを少し書いてみました。
これからも過去のお話はちよくちよく書くかもしれませんが、ご了承ください。

7・ラッキーセブンだけど、全然ラッキーじゃないよ。

高校生になりました。

受験勉強と面接練習の甲斐あって、第一志望校に合格しました。

ピカピカの一年生な私です。

心って複雑ですね。

浮き沈みが激しいってどうか…気持ちのもちようって本当に大切だな……と、改めて気付かされました。

私、学校だと大体いつも独りだったんですね。

別にそれだけならまだいいんですけど、どんどん変になっていくのがわかるんです。

夢とか目標とかもっていて一日一日前を向いてそれに向かっていった時の自分が、とても眩しく思えます。

実は、私は周りの人と身体とかが少し違います。

…少しじゃなくて、結構かもしれません。

自分で自分をそうしてしまったのに、今更そのせいにしてしまうのもあれですが…

でも、本当に普通じゃないんです。

障害者とかじゃないですけど、普通の間覚をなんとなく覚えているだけにつらいです。

普通の人と暮らすのは、心が痛いです。

自殺って、自分を殺すって書きますよね？

私は自殺をしていませんが、心のほうで言うなら、自殺をもっとくにしていてと思います。

周りの人に色々気を遣っちゃうんです。

遣わせちゃうんです。

なんかもうきついです。

しんどいです。

でも、命を粗末にするのは親不幸者です。

明日も学校に行かなければなりません。

色々こわいです。

心配です。

努力が足りないどころより、気持ちで負けてるんです。

死ぬということは「逃げです。

現実から逃げていたら、昔の自分と何ら変わりません。

でも、もう色々訳わかりません。

なんか暗い話してすみませんでした。

でも、これが今の私なんです。

優柔（不断）で、人とうまくコミュニケーションとれなくて、まわってきたプリントも満足いくように渡すことができません。

皆きつと、そんな自分にあきれてると思います。

自分がこわいです。

周囲の人の目もこわいです。

今の自分は嫌いです。

少しずつでも、変えていけたらいいなあ……と、思います。

(無理かもしれませんが)

少しの音にでも敏感に反応してまいります。

私、そのうちいじめとかにあつのかなあ……

まあ、その時はその時だっということ、人生気楽に生きていきたいものです。

少しでもそう思える自分があるのが心の救いです。

でも、やっぱり学校は好きになれそうになりません。

自分勝手な意見ですが…。

これ書いてる暇あるなら宿題でもしておいたほうがいいと思うので、明日と向き合うために勉強とかしていきたいと思います。

7・ラッキーセブンだけど、全然ラッキーじゃないよ。(後書き)

暗い話かいてすみません。

前向いて歩けません。

下向いて歩いてます。

物事を広い視野で見つめることができません。

今も未来もよく見えてません。

投げやりな私です。

本当に最近、自分が変になっていってます。

学校がこわいです。

新しい環境がこわいです。

…中学のころに戻りたいです。

……中三の時の自分に……。

8・心が空っぽ

意欲はなんとなくなくだけど、できた…かもしれせん。

ちよつと負けず嫌いな自分が…ですが。

体育の授業の時男子に『ありえねーだろ、あの女』って言われた気がしました。

私も内心自分のことをそう思っていました。

お腹はすくけど、ご飯を食べるのは苦痛です。

学校で一緒にお弁当を食べてくれる子たちはいます。

でも、歯並びがものすごく悪いので、他の子たちと同じペースでお弁当を食べられる自信ないです、私。

急いで食べようとするとどうしても下品な食べ方になってしまいます。

歯並び…治したいです。

今を一生懸命に生きてないので、未来も見えません。

ほとんど無気力で、昔の自分だったら…って、考えてしまいます。

昔の私は、前を向いて、ときどき立ち止まったりもしたけれど、現実に果敢に立ち向かっていました。

…躁うつ病になってたと思います。

自分が心の病にかかっているのではないかと思いき々な病気について調べたのですが、今の私は抑うつ状態ではないかと思えます。

学校で授業を受けてても自分の考えがまとまらなくて、集中力が低下して、自己嫌悪に陥って、現実逃避行に走って…（とはいっても、今は自殺は考えていませんが。）

あと、対人恐怖症とかでもあると思います。

昔から他人の目が気になる…というより、気にしちゃう性格なんですよね。

あと、周りの人より自分が劣っているって感じて、周囲の人に気がつかってしまいます。

自分が気をつかってしまうのだから、もちろん相手の人にも気を遣わせてしまうのは目に見えてるはずなのに……

あと身体的な問題なら過敏性腸症候群、後鼻漏…とかになってるみたいですよ。

昔の負の遺産は捨てたいのですが、今は自分のことすらちゃんとできてなくて周りに迷惑かけてる自分が嫌です。

トラウマどころより、今の自分が嫌いで仕方ありません。

正直、皆私のことうざいと思ってると思います。

自分が世界にとって邪魔だとも思います。

だけど、私はこんなところで命を捨てたくありません。

だってまだ、人生の半分も生きてないんですから!!!

今をちゃんと生きれてないんですから!!!!

…ポジティブシンキングに切り替えていかなければなりません。

ネガティブはもう嫌だ!!!

リストカットとかしましたが、それよりも心の痛みの方が痛いと思います。

…気持ちって複雑。

『あなたの夢は何ですか?』

…って、今聞かれたら答えられる自信ないです。

前だったら『はい、小説家になることです!』って、即答できたと思うのになあ…

日常のことも満足いくように出来てません。

前はちゃんとできてたことも、今はできてません。

誰かが面白いことやってもうまく笑えません。

でも、愛想笑いをするのは疲れます。

今の自分は疲れます。

ぶっちゃけた話、こんなの私じゃないって思います。

クラスの皆にも迷惑かけたくないと思うので、自分がちゃんとしたら学校に行きたいと思います。

将来の無限の可能性を自分で狭めたくありません。

勉強するのは嫌いじゃないです。

勉強は私を裏切らないし…今までだって頑張ってきました。

頑張ってきたのに、今ここであきらめて何になる…!!

…もう、開き直りです。

から元気です。

中学の時にもう少しハメを外しておけばよかったなあ…

でも、もう中学のときにはもう戻れません。

そんなのわかってます。

旧友にだって会いたいです。

……その為にはまず、自分の意思をちゃんと持つことです。

前を向いて歩いて行くことです。

背筋をピンと伸ばして明日に向かって生きていかなければなりません。

今はまだ、自分の人生のゴールだとか目標だとか夢だとかそんな具体的なものは見えませんが、自分をよい方向へ変えていけたら……と思います。

難しい勉強にも、ついていけるようになったらいいなあ……と、感じます。

日に日に顔がやつれていつてる気がします。

始めはただ同情を買いたかっただけなのに……

どんどん自分がダメ人間になっていってます。

自分のことくらい自分でできなくてどうする、私!?!……って、思うんですけどね。

今は身体の休養よりも心の休養を優先させていきたいです。

心のエネルギー不足みたいなので。

よく『“人”って字は人間が支えあって出来てる』……って、いいますよね？

でも、今の私はそれができてないと思います。

支えあうっていうか、一方的に足を引っ張っちゃってる感じですよ。

うー…暗いです。

くらっ！ 何こいつ根暗かよ！？…そう思ってくれて結構。

今は結構結構コケコッコとかいってる余裕ないです。

(昔だったら言っていた！)

ストレス発散したいよー。

思ったことはちゃんとと言えるようにしたいよー。

こんな自分はいやだよー。

うざいよー！。

でも、自分を変えるなんてことは一朝一夕でできるわけではないです。

一日で理想の自分になれば皆苦労なんてしませんから。

(…あたりまえだけど。)

だから、ゆっくりでも一日半歩でもいいから進歩していけたらいいと思います。

今はテストで学年一位とる！…なんて、高望みなこと言いません。

(前は言ってた)

ちゃんと学校に行く…そこから始めていきたいと思えます。

それから徐々に授業とかにも出て、宿題とかもやれていければ……
そう思います。

でも、自分にできるかな…？

正直、不安です。

弱音を吐くなと言えばそれまでですが、でも、やっぱり色々神経質
な奴なので、色々と心配になっちゃうんです。

不安になっちゃうんです。

恐怖みたいなものにかられちゃうんです！

んー…分かってるんですよ、これでも。

自分を変えるのは結局は自分だってことくらい。

今までだってそうしてきました。

独りでだって、精一杯生きてきました。

でも…今の自分はなんか……弱いんです。

色々気にしちゃう。

気にかけてちゃう。

人とうまく接せれない。

おまけに皆に迷惑かけちゃうわ…で、最悪です。

自分の趣味とかも、できてないです。

私は結構自分の中に感情を抱え込んだりするので、今の自分の心は色々ありすぎてパンクしちゃってると思います。

パニック状態ですね…完璧。

どうしたら自分に自信がやる気が勇気がでてくるのか、今は手探りでも探していきたいです。

…んで、昔みたいに思いつきり笑えるようにしたいです。

スイッチはいつちゃったら笑いが止まらない自分のほうが、好きですから。

今の私は、どんよりしたためまわりの気配を探ってる…そんな感じだと思っています。

こんな私は嫌、嫌…嫌！！

人生楽しむのも苦しむのも自分次第。

自分が変わろうとしなくて誰が私を変えてくれるか！？

自分は、自分。

他人は他人。

自分のペースで、ゆっくりでいいから…

少しずつでいいから………変わっていいこう。

でも、今の私じゃ勉強とか授業についていけないだろうな…。

皆自分より頭良く見えるもん。

中学の時は教える側だったのに、教わる側になりました。

授業結構出てないので、わかんないこと多いです。

授業出てないのは自分だから自業自得。

結局、自分で自分の首を絞めているのかなあ…とも思います。

なにあたしまわりくどいこと書いてるんだろ…とも思います。

くっらーい話しちゃってすみません、ほんと。

『ごめんなさい。』

とか

『ありがとう。』

…って、感情をこめて言える人間になりたいです。

キーボード見なくても結構打てる自分があります。

ちよつとすごいなとか思ったり…思わなかったり。

でも、GとかTのいちとかよくわかりません。

結局私はまたこうやって現実逃避をしてしまうのでしょうか…？

引きこもりになってしまふのでしょうか……？

今はまだ、今をちゃんと生きてないので、なにかもがぼやけて見えます。

視力も悪くなっていってます。

『自分を変えたい』

…違う。

『自分を変えよう』

そう考えていかないと、駄目ですね。

自分なんかにできるわけない。

自分なんか生きてる価値ない。

そんな風に思ってるから、心が疲れる。

体調が悪くなる。

できないをできるに…

やれないをやるに…

一日一日を大切に…生きていきたいです。

そのためにも、まずは生活習慣から改善せねば…！

暴飲暴食はダメ！

自暴自棄もダメ！

…まずはやれること（身の回りのこと）からやってみよう。

…とは思つものの、今の私は心が空っぽな感じです。

今も見えない未来も見えない。

なににも関心がもてない。

朝になると心がすごい絞めつけられて、今はすごい心が空っぽで、以前の自分と比べると、まるで別人にでもなってしまったかのようです。

私はやっぱり、心の病気なのでしょうか………？

楽しいってこととか、嬉しいってこととか、そういつ感情がよくわかりません。

8・心が空っぽ（後書き）

心が空っぽです。

自分の快樂とかわかりません。

私はロボットなのか…？

……いや、そんな訳はないか。

9・これは病気？ それとも私が皆と違うのだろうか…

自分で自分をあきらめてる。

自分に自信が持てない。

今の状態じゃ学校に行けるわけもなく、通信教育でさえできるかどうか…

朝は頭がものすごく重くて、目がすごい疲れてて…今にも倒れそうだと思います。

自分がくずだとも思います。

親にしてみれば明るく学校に行ってくれるのが一番いいらしいですが、無理です。

とてもじゃないですが、無理です。

それは今の私にとって自殺行為と同じ…というより、それ以上きついものなのです。

やっぱり私は、学校でやっていけないのかもしれないかもしれません。

独りになるからどうこうより、今の自分の心が弱くて、向上心とかチャレンジャー精神旺盛な自分がいません。

…泣きたいくらいに。

毎日が楽しくないです。

苦痛です。

冗談とか聞いても笑う気力がないと思います。

ストレスばかりが心に溜まって、しんどいです。

将来とか未来に希望を持ってませんし、今の自分が大嫌いで仕方がありません。

前の自分だったらできたのに…と、自己嫌悪に陥ってます。

なんでこんなこともできないのか…と、いちいち気にしてしまします。

おいしい食べ物とか食べれなくていい。

ケータイもいらさないから…前みたいに明るくて意欲があって思ったことはちゃんとと言える…そんな強い心がほしいです。

できることなら空気にもなりたいです。

目には見えないけれど、皆に必要とされる空気になりたいです。

毎日が憂鬱です。

学校どころじゃないです。

自分で自分がよくわからないです。

心が疲れています。

意欲も向上心もありません。

自分の存在価値もわかりません。

私は近いうちにまた、学校に行かされるのでしょうか…？

今の私じゃ、学校でも足手まといです。

人とのコミュニケーションのとりかたもわかりません。

消えてなくなってしまうたいです。

皆が私の悪口を言ってる…そんな風に聞こえます。

これは心の病でしょうか…？

それとも私がおかしいのでしょうか…？

どちらにせよ、今の私に明るく人生を生きていく気力はありません。

皆を暗くさせてしまふ。

皆に迷惑をかけてしまふ。

自分のことも満足できるようにはやれない。

そんな自分が嫌いです。

パソコン打つのが早くても何の意味もありません。

結局は現実逃避にしかならないのですから。

私にとって、身の回りのことをちゃんとこなせてないのは苦痛です。

前みたいにポジティブシンキングできません。

「やった、今日は電車に早く乗れたから席に座れた！」

…とか、考えられないです。

学校の皆に気を遣わせてしまつのも嫌です。

自分のことをちゃんとできない自分も嫌です。

私ってなんで生きてるのか、どうして存在してるのか…わかりません。

身近な人にはきつと、こんな奴の気持ち分かってもらえないんだろ
うな…

人とうまく話せなくて、勉強しても考えがまとまらなくて、何を
するにも決断が遅くて、寝ても心が休まらなくて…昨日とか唯一心か
らリラックスできたのはお風呂に入ってるときだけでした。

なんで私、こんなになっちゃったのか…

正直、自分でもわけわかりません。

きっかけは学校での些細な出来事だったと思うのですが…もう頑張れる気力がわいてこないというか、自分が自分じゃなくなってるというか……

皆の行為が心に痛いというか…

自分に自信が持てなくて、自分なんか…と、思っています。

自分で一步を踏み出せない。

毎日が苦痛。

日に日に顔がやつれていく自分…

もう、なにをどうしてどこからどうなおしていったらいいのやら……

いいなあ、ようりょうのいい人…

いいなあ、思ったことをずばずば言える人…

いいなあ、自分に自信が持てる人、毎日を楽しめてる人…

充実した日々を送れていません。

小学校一年生からやり直したいです。

皆に気を使わない遣わせない、友達とたくさん遊ぶ生活をしていればよかった。

もっと女の子らしくしていればよかった。

でも、もう既に時遅しって感じですよ。

自分がダメ人間にしか思えません。

まわりの人に励まされても、それは普通だから言えるんだろ…って、思ってしまうよ。

自分なんて死ねばいいのに…

これが私？

そう思って、現実を受け入れられてないのか…

はたまた、昔よりも悪くなってる自分に自分自身が愛想をつかしているのか…

親はきつと、私より弟のほうが大切なのだと思います。

そりゃそうだ。

あいつはようりよいしいし、友達だったたくさんいるし、運動神経だっけいいし…きつと、親からしてみれば自慢の息子なのでしょう。

人のことを比べちゃいけないとかいいながら、いつも私たち兄弟を比べてる癖に…！

私は私なのに…！

親ってなんでしょうか…？

私って養子か…？…？…って、たまに思います。

私はあいつみたいに物事をつまこなすことができません。

クラスでだっていつも浮いてます。

悪口だって言われます。

自業自得なのだけけれど。

もう、訳わかりません。

疲れたって、それはこっちのセリフです。

誰も私の気持ちをわかってくれない。

やっぱり自分の気持ちを分かってくれるのは自分だけ…？

学校休んでも、心は休まりません。

通信教育だって、今の自分にできるかどうか…

未来に希望を持ってない。

今もみえない。

生きてる意味もわからない。

でも、皆に迷惑かけたくない。

自分で自分を変えられる自信がない。

いつそのこと、この世から消えてなくなってしまうたい。

自分なんて嫌いだ。

大嫌い。

最低最悪のくずだ。

みんなみんな大嫌い。

自分に長所なんか無い。

今の自分に残っているのは短所ばかりで、何一つ満足にできないのだ。

昔から人付き合いが悪かったから、どうしていったらいいのかわからない。

親に言われた家事とかやってたけど、本当はやりたくなかった。

迷惑かけたくなかったからやってただけだし、本当は自分の体の病気のことが話せてなかった。

学校に行くのが苦痛だった。

つらかった。

しんどかった。

自殺しようと思ったことだって、たくさんあった。

普通になりたかった。

みんなみたいに校則破ったりしてみたかった。

気軽に話せるようになりたかった。

思ったことをちゃんとと言えるようになりたかった。

でも、もう手遅れ。

私は人の何倍努力しなければならぬのだろうか？

今の自分には見当もつかない。

自分が嫌い。

大嫌い。

今の自分に希望が持てない。

いっそのこと、死んだほうがこの世のためかもしれない。

私はうつなのかもしれない。

学校に行くことを考えると、心が痛いです。

頭がすごく痛くなるし、目の前のことですらちゃんとやれません。

学校って、楽しいものじゃないの？

親にそんなこと言ってるんならあたしと変わって仕事をしてほしいぐらいだよと言われました。

でも、心が普通なら愛想笑いだって浮かべてやるし、なんだってできますよ、そりゃ。

でも、今の自分に自信を持ってないし、気力もやる気もわいてこないんですよ。

いつもいつも不安に駆られて自分が嫌になっていく自分を駄目だと思って、自分が大嫌いになって、でもその気持ちの切り替え方がわからなくて、日常生活にも支障をきたしていて、家族には誤解されてうざがられて、なにあいつぐっすり寝てるのに学校いかなーんだよ…じゃ、ないんですよ。

違うのに、ほんとに。

本当に本当に元気じゃないのに。

人とちゃんとコミュニケーションとれないのに。

人とかかわるのが面倒だからそんなこと言ってるわけじゃないのに。

皆に分かってもらえないこの気持ち。

皆はどうしたんだらう？って不思議に思って元気づけようとするのがかえって心に痛いです。

不登校の子ってそっだよな。

…あたしの気持ちにでもなったら死にたいって思う気持ちがわかるよ。

思わずそう言いたくなります。

自分が嫌い。

思ったことをちゃんとと言えない自分が嫌い。

親は世間の目を気にしているのか？

だから私を学校に行かせようとしてるのか？

これじゃ、鳥かごに入れられた鳥だ。

広い大空にはばたきたいのに行動範囲をせばめられている鳥だ。

鳥かごの中の鳥だ。

本当に人とちゃんと接せれないのに、すごい気を遣っちゃうのに…
そして思ったことをちゃんとと言えない自分にも罪悪感を感じてしま
うのに…

みんなみんな、私の気持ちをわかってくれない。

理解してくれない。

学校に行くことが今の私にとってどれだけつらいか分かってくれない。

毎日が苦痛。

昔は学校の日が近づいてくるたびに自分の寿命がすぐそこだと感じた。

楽しい時に別れを告げて、夜中にずっと声を殺してすすり泣いていた時間もあつた。

つらかつた。

きつかつた。

でも、自分の気持ちを分かってくれるのは自分だけ…と、いつもあきらめていた。

学校は…嫌いだった。

楽しいと感じたことはほとんどなかった。

ほとんどつらかつた。

嫌な思い出ばかりだった。

自分のことも嫌いだった。

廊下で大勢の人が歩いてきたら隅っこによって歩いた。

一々まわりの人に気を使っていた。

まわりの人は自分よりすごい人に見えた。

自分にできないことをできるから…いつも劣等感を感じていた。

パシリみたいにされた時もあった。

ものすごく嫌だったのだけれど…

いつもいつも、なんで自分が学校に行ってるのか…よくわからなかった。

疑問だった。

学校は嫌いだった。

嫌だった。

ずっと、ずっと…

自己嫌悪、対人恐怖症、うつ…他にもあるかもしれないが、とにかくそういう心の病気が自分には当てはまると思った。

前は自分で改善していったが、今の自分には治せるかどうか…だから、それ以上のこと（学校に行くこと）なんて、考えられないのだ。

毎日リラックスできない。

趣味もわからない。

自分が嫌になっていく日々。

そのうち奈落の底にでも落ちるのだろうか…？

励まされても無理だと思う。

どうしたら前みたいになれるのか分からない。

いつも罪悪感や不安に駆られる心を誰か分かってくれればいいのか？

自分のことを自分でちゃんとできなくて、昔の自分を見て自己嫌悪になって、そんな時間の無駄だと感じていても、周りに迷惑かけて心がどんどん沈んで行っちゃっても学校にかなければならないのか…？

色々な不安に駆られて毎日を楽しくてないのに、満足するように休めてないのに、それでも学校に行かされるのか…？

みんな、私の気持ちをわかってくれない。

みんな…

だれか、私の気持ちを分かってくれるというのなら、それは自分だけなのだろうか？

一々まわりの目を気にしてしまい、自分のこともちゃんとできずに

でもこれやっというとか言われても、困るのに…

病気じゃなかったら、もう自分に希望が持てない。

自分に自信が持てない。

どうしたらいいのかわからなくなりそうだ…

インターネットでうつ病の診断をすると必ず重症になる。

どうやら私は重度のうつ病らしい。

それでも学校に行かなければならないのだろうか？

対人恐怖症からうつ病になってしまったらしい。

本当に心の病は治っていくのだろうか？

病は気から。

気持ち次第だと親に言われても納得できない。

それならとつくに克服していたはずだ。

いつもいつもまわりの目を気にせず済んだはずだ。

それと、重い対人恐怖症みたいです。

みたいというか…そうです。

人と話すのとか食べるのとかその他もろもろあてはまりました。

昔からもずっとそうだったなって…感じました。

でも、果たして親がこの病気のことを分かってくれるのか…？

分かってくれなくても、自分がいろんな病気に立ち向かっていけるのか…今から不安です。

私には身体と心の病気がいくつもあるみたいなので、生きていくには克服しなければなりません。

死ぬということは逃げることだとは考えてません。

罪を償うことだと考えているのです。

死んで、あの世で罪を償うことだと思っているのです。

でも、周囲の人に私の気持ちは理解されなと思います。

このままじゃ駄目だということもわかってます。

でも、自分を変えられる自信がないです。

気の持ちようだけで生きていけたらいいのに。

…はつきりいってそんなの無理だと思います。

みんな私の気持ちを分かってくれません。

心が病んでいます。

体も病気です。

体のほうは前は自分で意識して変えていったのですが、学校のことを考えると何に対しても意欲が出ません。

自分が嫌いです。

9 ・これは病気？ それとも私が皆と違うのだろうか…（後書き）

朝がすごい具合が悪くなります。

学校に明るくいく気力なんて皆無です。

自分が嫌いです。

存在価値がないと思います。

10・悩みは多いもの、考えたって悪くなるだけ考えるより行動せよ！

こんな暗いこと書いてたのか…と、冷静に見て思った。

いいじゃん、自分は自分人は人。

ペースだって人それぞれだし、ちよつとずつ変えていけばいいんだから。

…そう思った。

今はまだ元気とかあんまりないけど、死ぬより生きることを考えたと思う。

周囲の人にも迷惑かけたくないけど、人は支えあって生きてく者だから、お互い助け合ってけばいいんだよ。

でも、まだ勉強とかできるか不安。

不安、不安、不安…

死ぬこととかばっか考えてたから、自分を元気にできるか不安。

自分のことですらちゃんとできてないから、まわりがよく見えてない状況です。

前できてたことが今はできなくて、これじゃ進化じゃなくて退化だって話です。

ちよつとずつでも進化…いや、進歩してかないと。

でも、また後鼻漏とか唾液がたくさんでるのとか、腸とか治せるの
だろうか…それで心にゆとりがない気もする。

色々生きていきにくい自分が嫌だと思った。

家においても憂鬱なのだ。

でも、このままじゃ皆変になっていくのは目に見えているのだ。

でも、自分の体や心を変えられるか…不安。

病院に行ったほうがいいのかもしれない。

体 心へきているかもしれない…というか多分そうだと思う。

…私、自分に自分でウソついてたのかなあ…

自分にならまだしも周囲にもそうしてたから最低だなと、感じる。

これからどうしよう…

でも、とにかく自分があきらめてたら何も変わらない。

自分で行動を起こさなきゃいけないことは百も承知。

今までだっただけで黙ってきたのだし…

10・悩みは多いもの、考えたって悪くなるだけ考えるより行動せよ！（後書き

このままじゃ駄目なので、自分でちゃんと自立できるようにしたい
きたいと思います。

死のうとしたけど、死ねてないんだし…ね。

白黒はつきりつけようじゃないか！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5230j/>

これが私

2010年10月28日07時11分発行